

US オープン報告書



期 日：平成25年8月25日（日）～9月5日（木）
場 所：ニューヨークナショナルトレーニングセンター

日 程

平成25年8月25日, 26日 NTCにて強化合宿

8月27日～29日 現地にて練習

8月30日～9月4日 USオープンジュニア

9月5日 帰 国

選手団

ディレクター 古賀 通生 (全国選抜高校テニス大会実行委員会会長)

団 長 迫田 義次 ((公財)全国高等学校体育連盟テニス専門部部長)

監 督 新居 弘行 ((公財)全国高等学校体育連盟テニス専門部副部長)

選 手 三好 健太 (埼玉県秀明英光高等学校)

前田 夢佳 (山口県野田学園高等学校)

コ ー チ 福永 二郎 (アメアスポーツ)

試合結果

予選一回戦

三好 健太 2-6,1-6 Francis Tiafoe (USA)

前田 夢佳 1-6,2-6 Usue Maitane Arconada (USA)



総 括

監 督 (公財)全国高等学校体育連盟テニス専門部
副部長 新居 弘行

12 日間を振り返って、まずは NTC での強化合宿でお世話になった日本テニス協会常務理事 福井烈様、強化本部 NTC 運営委員長 櫻井隼人様、田島孝彦様、日本大学の学生の皆さん、ニューヨークでお世話になったゼツさん、そしてアメアスポーツジャパン様に心よりお礼申し上げます。皆様方の支えにより、無事遠征を終えることができました。

派遣選手発表が3月の選抜大会最終日。インターハイの開会式後の8月1日に初ミーティングを行い、NTCでの合宿を経てニューヨークへ入り大会を迎えました。試合結果は男女とも予選1回戦敗退で終わりました。

「”良い経験”では終わらせたくなかった。」試合後の選手の言葉です。三好、前田両選手とも日本の高校生の代表という重い責任を背負いながらの試合は初めでした。しかし2人は下手をすれば押しつぶされそうになるその大きな荷物を、強い自覚と高い意識によって自分を奮い立たせるエネルギーに変換し立派に戦いました。

今回ジュニアの予選は US オープンの会場に隣接している本来練習コートとして使われているコートであり、参加者は本選が行われる US オープン会場内のコート（プロの試合同様の審判、ボールパーソンがつく）を目指します。そして本戦出場を果たした選手も2万人の観客が見守るスタジアムでの試合を夢見ていることでしょう。

US オープン会場は”厳しい競争”と”夢”が同居する世界でした。

「もう一度ここで試合がしたい。」。試合の翌日、あこがれの眼差しではなく決意の目でそう語ってくれた選手の言葉を私は信じます。

さて、選抜大会の個人戦では日中韓ジュニア交流競技会派遣選手として男女計8名、US オープン派遣に男女計2名、合計10名の代表選手が毎年選ばれています。今回事前合宿のヒッティングパートナーとして協力してくれた日本大学の堀切君は昨年の日中韓ジュニア交流競技会（韓国）の代表選手です。大学の重要な試合もある中、時間を割いてくれたことに感謝するとともに、こういった過去の代表選手が後輩の代表選手をサポートするという関係が今後も発展していくことを願って止みません。

最後になりますが”世界へ羽ばたく”でなく”世界で羽ばたく高校生”を継続して出すためには全国高体連テニス部としてさらに何ができるのか。普及と強化の両方を考えながら副部長としての責任を果たしていきたいと考えています。



U S オープンジュニアを振り返って

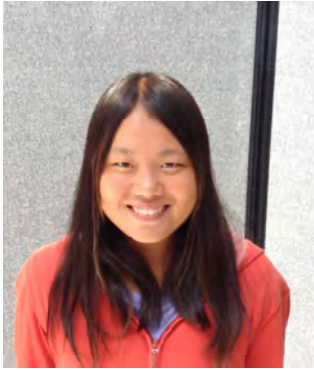
埼玉県秀明英光高等学校

三好 健太

まず始めにU S オープンジュニアに参加させていただきありがとうございました。普通の人ではなかなか出場できない様な大会に参加できてとてもいい経験ができました。試合ではこのような舞台でなかなかプレーすることがないので凄く緊張しました。相手は展開が速く最後まで自分のプレーをさせてもらえませんでした。でも強い選手と試合ができ、自分の足りないところを気付くことができました。プロの試合を間近で見ることができ、凄く迫力があり感動しました。その中でも一番ナダル選手が印象に残っています。自分もいつかはこのような舞台でプレーをしたいと思いました。

最後になりましたが、このような機会を与えてくれた全国高体連の皆様、引率して下さった先生方やウェアやバックを提供して下さったウィルソンの方本当にありがとうございました。





U S オープンジュニアを振り返って

山口県野田学園高等学校

前田 夢佳

はじめに、U S オープンに連れて行って下さった高体連の皆様、ウィルソン様、関係者の皆さまありがとうございました。私は春の全国高校選抜の個人選で優勝し、U S オープンに行けることが決まってから本戦に上がることを目標に日々練習に取り組んでいましたが予選一回戦でアメリカの選手に負けてしまいました。緊張し、なかなか思うプレーはできませんでしたが随所に良いプレーもあったので世界のレベルや世界で勝つための課題も見つけました。それに私は初めての海外遠征で、初めて海外の選手と練習したり、初めて英語を使って会話をしました。

皆様のご協力と応援のお陰で初めての海外遠征に行き沢山学び良い経験ができました。ですが、日本の高校生を代表して勝つ試合をしたいと挑んだのですが結果的には負けてしまい悔しい思いと申し訳ない気持ちでいっぱいでした。この負けを決して無駄にせず大学でも活躍できるように頑張ります。これからも日々努力を積み重ねていきたいと思います。ありがとうございました。



第 1 日 8 月 25 日 日曜日

13:00 味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）集合
13:40 練習開始
17:00 練習終了 隣接のアスリートヴィレッジへ
18:30 夕食

お昼の 12 時過ぎ、NTC テニスコート内。集合時刻の 1 時間以上も前に前田夢佳選手がやってきた。「こんにちは。よろしくお願いします。」驚き顔の私たちを尻目に「お弁当こちらで頂いてもよろしいでしょうか」。いつもの元気あふれる笑顔である。

コートに入るためには ID カードが必要で、どうしたのか聞くと自分で受付をしてカードをもらってやってきたとのこと。彼女自身初めての NTC という大きな施設でしっかり行動できていることにまず感心した。

程なく三好健太選手も、今回ヒッティングパートナーをお願いした日本大学の堀切さん高野さんもそろったので 14 時開始の練習を 30 分早めてスタートした。

テニス協会の桜井さんにも熱心なご指導を頂いた。三好はフォアの回り込み、リターン後の動きの確認、前田は実戦形式中心の調整となった。その後隣接しているアスリートヴィレッジ（宿舎）に移った。夕食では一日の緊張から解放された選手達と、それぞれの学校やテニスの話について食べ終わった後も会話が弾んだ。

アメリカ行く前に NTC で合宿をした。初めての NTC だったので少し緊張したし、想像以上に大きかったのでびっくりした。着いたらすぐに練習を始めた。コートもすごくきれいでやりやすかった。少し慣れない感じだったが、いい緊張感の中い練習ができた。時間ほどして終わり、お風呂に入りすぐにご飯を食べた。色々な種類がありおいしかった！ 1 日目の合宿が終わり緊張感をもってテニスができ、設備もよく、いい準備ができてる。明日も 1 日頑張ります！（三好）

朝、宇部空港まで部員が見送ってくれて羽田まで行き、電車とバスで NTC へ行った。私が着いたら福井烈さんが 1 人でマシン相手に練習していた。同じことをひたすら足を動かして何かを自分で意識してやっていてすごいなと思った。ナショナルのコートは野田学園と同じ、そして USopen と同じデコターフだったので、私に合っていたし大学生と打ってもらえていい練習になった。（前田）



第2日 8月26日 月曜日

7:00	散歩, 朝食	14:00	成田へ移動
10:00	練習開始	16:00	ホテル日航成田着
12:00	練習終了, 昼食	18:00	結団式

昼から成田へ移動するため午前中2時間の練習となった。今日も桜井さん、日本大学の高野選手、奥田選手にお手伝い頂いた。三好は高い弾道のボールに対する対応のチェック、サービスのトスの確認。前田はサービスの着地のチェックをした。最後は実戦形式の練習で終わった。

昼食は今日もアスリートヴィレッジ内の食堂”サクララウンジ”でとった。このラウンジはバイキング形式で、NTCで練習している他競技の選手も集まる。今日はフランスの卓球チーム、日本の男子バレーボールチーム、日本のハンドボールチーム、ラグビーチームと一緒にあった。ちょうど有名選手も食事中で、二人はそのオーラ、体つきのすごさを間近で感じる事ができた。

2時頃 NTC を後にし成田へ移動、18時から古賀ディレクター、迫田団長と合流し結団式を行った。迫田団長から全国10万人の代表として頑張ってもらいたいと激励の言葉があり、両選手もその期待に応えたいとの決意を語った。その後記念撮影をし、明日の搭乗について西鉄旅行から説明があった。

今日はアメリカ行く最後の練習をNTCで終えた。いい感じでコーチともコミュニケーションをとれてよかった。

昼を食べて空港に向かった。
待機する部屋がすごくきれいで驚いた。

時間になったので飛行機で12時間のフライトにいきます！（三好）

午前同じように大学と練習してもらった。福永さんにサーブをアドバイスしてもらって良くなった。ナショナルで昼食をとって移動。ナショナルの食事は栄養ばっちりですごくおいしいので今後の自分の食事の参考にもなりました。

ホテル日航での結団式では緊張しましたが、改めて日本の高校生の代表として自分のベストをつくして戦おうと思いました。（前田）



第3日 8月27日 火曜日

7 : 0 0 朝食
8 : 4 0 ホテル出発，成田空港へ
1 1 : 3 0 離陸 機内

7時朝食。二人とも疲れた様子はなく，集合時間の10分前に朝食会場入り口での元気な挨拶が心地よかった。NTC 合宿からずっとバイキング形式の食事が続いているせいか二人の選手とも小食であった。

11時前に機内へ搭乗。離陸予定時刻の11時10分を少し過ぎアメリカに向けて出発した。



第4日 8月27日 火曜日

- 11:00 ジョン・F・ケネディ空港到着
ホテルへ移動，移動途中で昼食・観光
- 15:30 キタノホテル到着
- 17:30 ジョンマッケンローテニスアカデミーで練習
- 19:00 ホテル着，夕食

8月27日 AM11 時日本を出発。8月27日 AM11 時アメリカ到着。時差とは分かっているけれども時間的に何か得をしたような気持ちでニューヨークジョン・F・ケネディ空港に降り立った。(ちなみに時差は日本時刻から1引いて昼夜を換えるとニューヨーク時刻になり，ニューヨーク時刻に1足して昼夜を換えると日本時刻になる。) 空港からホテルへ向かう車の中ではガイドさんから現地の地理や歴史などの説明を受けた。途中自由の女神を望むスポットと，昼食のレストランに立ち寄り，ホテルに到着した。

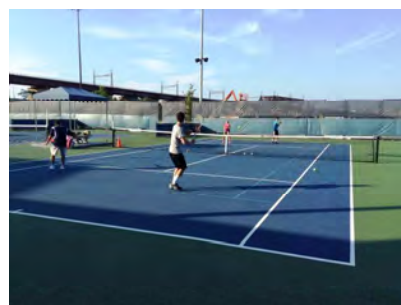
部屋で1時間ほど休み，ゼツさんの車で早速練習に向かった。ゼツさんはニュージャージー生まれの32歳。ご両親が日本人で，大学卒業後日本でも高校英語指導助手やテニスコーチの経験もあるため，日本語も普通の日本人と全く変わらない。今回，練習会場や練習相手の調整，ヒッティングなどでサポートして頂いた誠実さにあふれる好青年である。

練習は1時間。ストローク，ボレー，サーブの確認をした。最後の方は二人とも長旅の様子を感じさせない熱の入ったラリーであった。

12 間のフライトを終えやっとニューヨークに着いた。13 時間の時差があるので眠くて辛かった。

でもホテルにつきチェックインしてから練習に行った。練習はジョンマッケンローテニスアカデミーでやった。短い時間だったけどいい感じで終えることができた。(三好)

時差ぼけ対策で夜四時間だけ寝て飛行機に乗った。けど結局飛行機でもあまり寝れなかった。私は人生初の海外で，不安と緊張の中，ニューヨークまでの12時間過ごした。ニューヨークのジョンエフケネディー空港について心配していた入国審査も無事クリアしてホテルに行った。ホテルに向かう途中で自由の女神を見ることができた。そして練習は一時間ほどした。普通に動けたし調子もいい。(前田)



第 5 日 8 月 28 日 水曜日

11:00	ホテル出発
12:00	ジョンマッケンローテニスアカデミーで1時間練習
15:00	室内コートに移動して2時間練習
18:00	夕食
19:00	ホテル着

ジョンマッケンローテニスアカデミーではジュニアキャンプが行われているため午前中のコートは空きが無く、12 時からの練習となった。しかし 1 時間もしないうちに突然の雷雨によりやむなく中断。室内コートに移動した。この室内コートはニュージャージー州にあり、ゼツさんのホームコートである。急な申し出にもかかわらず2時間2面を貸して頂き中身の濃い実戦練習ができた。

帰りにレストランに寄り、夕食をとってホテルに戻った。

「滞在期間はずっと晴れ」という天気予報が外れ右往左往しかけた一日であったが、いろいろな方の支えにより大きな混乱はなく、本番に向けた調整ができた。

今日もマッケンローアカデミーに練習に来た。今日は午前からびっしりやる予定だったけど、突然の雨であまりできなかった。そこでインドアがあるコートに移動した。外人と練習し、ポイントもできて調子もよくなった。

練習を終え日本の商品が置いてあるスーパーにいった。でも日本より値段が高かったのであまり買わなかった。

明日は会場練習なので楽しみです！
(三好)

朝ホテルの朝食のパンケーキが美味しくて沢山食べた。練習はジョンマッケンローテニスアカデミーでさせてもらった。途中すごい雷雨で午後は練習をしてもらってるゼツさんのクラブでさせてもらった。ゼツさんはほんとによく教えてくれていいコーチです。調子もいいし、緊張してるけど頑張ろうと。ここまできたら自分のテニスするしかない。(前田)



第6日 8月29日 木曜日

9 : 3 0	ホテル出発
1 0 : 3 0	ジョンマッケンローテニスアカデミーで練習
1 2 : 3 0	昼食, USTA ナショナル・テニス・センターへ移動
1 6 : 0 0	45 分間練習
1 8 : 3 0	ホテル着

ホテル9時出発の予定が、今日はマンハッタン島の至る所で渋滞がおき、出発も練習会場到着も遅れた。しかしそのことが幸いし、ジョンマッケンローテニスアカデミーに到着してすぐビリー・ジーン・キングと会うことができた。US オープンの会場自体を USTA ビリー・ジーン・キング・ナショナル・テニスセンターというくらい、彼女は世界の女子テニス界に長い間君臨した名選手であり、最大の偉人のひとりに数えられている。

そんな歴史に触れながら練習コートへと向かった。コートでは US オープンジュニアに参加する選手も増えてきていて、三好・前田とも複数の外国人選手と一緒に練習や試合ができた。特に海外遠征が初めての前田にとっては良かった。

昼過ぎに移動し、US オープン会場に乗り込んだ。パスポートを見せてサインインを終え、会場内で与えられたコートで与えられた時間 45 分間プラス少し練習できた。

今日は USOpen のサインインなので会場に行った。会場内の雰囲気からもう緊張してきた。

サインインを終え練習をした。外人と練習してポイント練習をした。みんな大きくて迫力を感じた。いい練習ができ前日練習を終えることができた。

明日は試合なのでがんばってきます！
(三好)

朝予想外の渋滞でジョンマッケンローテニスアカデミーに着いたらすでに USOpen にでるジュニアたちのキャンプをしていた。私もそのキャンプに入れてもらった。英語の話せない私はせっかく話しかけてくれるのに曖昧な答えしか返せず、英語が話せるようになりたいと切実に思った。私と練習してくれた3人はほんとに上手だった。どうやらもうプロらしい。ダブルスもしてみんなで楽しくできた。その後は会場での練習で三好健太に打ってもらった。(前田)



第 7 日 8 月 30 日 金曜日

8 : 1 5 ホテル出発
1 0 : 0 0 練習
1 2 : 0 0 試合 前田夢佳 1-6,2-6 Usue Maitane Arconada (USA)
1 7 : 0 0 試合 三好健太 2-6,1-6 Francis Tiafoe (USA)
1 9 : 0 0 ホテル着, 夕食

会場へは会場とホテルを往復する専用バスがある。配布されている ID カードを見せバスに乗り込み他の選手, 関係者とともに会場に着いた。

練習コート受付の後 30 分間の練習。そして全体の試合が 10 時に始まり 12 番コートの 2 ラウンド目に前田の試合が始まった。

相手はアメリカの Usue Maitane Arconada。最初打ち合いはするもの最後のショットまでたどり着かず 0-4。ラリーがかみ合いだし攻めきって決めるポイントも出てきて 1-4。リズムをつかみだしたところでファーストセット終了 2-6。セカンドセットそのリズムのまま 2-1 リード。更にドロップショットも交えながら相手を揺さぶり, ミスが出始めた相手に 40-0 ゲームポイント, 流れはほぼこちらに。このままいくかと思ったがそこでの 1 ポイントが取れず 40-40。逆に相手はアドバンテージからのポイントをすぐものにし 2-2。振り返ってみるとこの場面が試合を決めた。その後懸命に追いつこうとするが少しずつまた流れが相手の方に傾き 2-6 で終了。

一方の三好は 4 ラウンド目の試合であったが前の試合が長引き予定コートを変更して 17:00 試合開始。相手はアメリカの Francis Tiafoe。アメリカランク 3 位ジュニアデ杯代表選手である。三好は随所に切れのあるショットも光ったが, 相手のパワーとスピードに押され, 結果的に打ち合いの中で主導権を握らせてもらえず 2-6,1-6。サーブからリズムを作りたかった。

「” 良い経験 ” では終わらせたくなかった。」試合後の選手の言葉である。2 人とも日本の高校生の代表という重い責任を背負いながらの試合は初めてであろう。しかし下手をすれば押しつぶされそうになるその大きな荷物を, 強い自覚と高い意識によって自分を奮い立たせるエネルギーに変換し精一杯頑張った。

今日はいよいよ USOpen 予選の日。4 ランド目だったので午前はホテルでゆっくりする予定だったけど、緊張してあまりゆっくりできなかった。午後会場に向かいさらに緊張感が増してきた。

でも少し練習すると緊張感もなくなり一番最後の試合に入った。相手はアメリカ人、結果は 2-6, 1-6 だった。相手のサーブにどう対応すればいいかわからなくなった。

でも USOpen の舞台で試合ができていい経験ができ、すごく楽しかった。結果はダメだったがこの経験を次にいかしていきたい！（三好）



予選一回戦、アメリカの選手に 1-6, 2-6。二セット目流れは私だったが 2-0 の 40-15 でのスマッシュミスで流れを変えてしまった。私がイメージしてた海外の選手は打ちまくってくるイメージだったが、この選手はイージーミスがなくフットワークのとてもいい選手だった。私はまだまだフットワークもパワーも足りないので帰ったらまた鍛えなおそうと思う。けど世界のレベルを感じる事ができた。（前田）



第 8 日 8 月 31 日 土曜日

11:00	ホテル出発
11:30	会場で試合見学
19:00	会場出発
19:50	グランドセントラル駅着、夕食

昨日で試合が終わり、今日は1日中会場で試合観戦をした。

アメアスポーツジャパンのご協力によりセンターコートの選手の間近に席を用意して頂いた。いつもならテレビ画面で見る選手がすぐそこでプレーしている。プロの選手の息づかい、ハードコートにきしむ靴の声、肉声、テクニックそして大勢の観客が作り出す雰囲気。生の迫力を選手も私も十分味わった。

また昨日試合をしたコートでは予選の決勝が行われており、ジュニア選手達の試合も参考になることや発見があり有意義な一日であった。

今日は試合もないのでプロの試合を観戦した。センターコートですぐ目の前で見る事ができた。近すぎて自分がコートに立ってる感じがした。こんな経験はなかなかできないのですごく楽しかった。フェレールも見たのは初めてだったのでかっこよかった。テレビで見るのとは全然違った！（三好）

試合負けてしまったので試合観戦。本当は今日もコートに立って試合がしたかった。アザレンカやナダルの試合が見れた。テレビでしかみたことなかった人が目の前で試合しててすごいと思ったし、あんなに打てたら気持ちいいし楽しいだろうなって思った。だけどああやって沢山の人の前でプレーするのは並はずれた努力をしてるんだなとも思った。私は下手なくせに努力が足りないと思った。私もあんな風になりたい。（前田）



第 9 日 9 月 1 日 日曜日

試合観戦

今日もプロの試合を観戦した。ブライアン兄弟のダブルスを見た。もうダブルスには見えなかった！

USOpen ジュニアの本戦が始まって、日本人の応援もした。いい刺激になりもっとがんばろうと思った。 (三好)

ブライアン兄弟のダブルスを見た。ダブルスも極めたい私には見応えがあったし、とりあえず息ぴったりなブライアン兄弟に感動しました。それから日本人ジュニアの応援に行ったりお土産を買ったりした。

夜はみんなで食事会に行った。今日私は 18 歳になった。ニューヨークで迎えてしかもサプライズでケーキまで用意してもらってて私は幸せものです。みんなに感謝でいっぱい。ニューヨークチーズケーキもほんとに美味しかった。(前田)

第 10 日 9 月 2 日 火曜日

ニューヨーク市内観光，自由行動

第 11 日 9 月 3 日 水曜日

試合観戦

第 12 日 9 月 4 日 木曜日

帰途

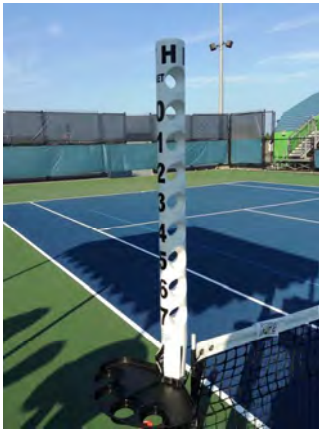
～スナップ写真集～



NTC アスリートヴィレッジ部屋の浴室には乾燥機能付きの換気扇があり、温風が出て洗濯物がすぐに乾いた。



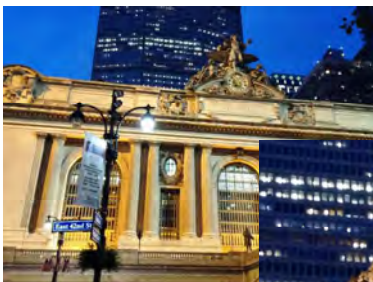
ニューヨークのホテル浴室には洗濯物干し用のバーが。スイッチを入れると熱くなり靴下が一晩で乾きます。



ジョンマッケンローテニスアカデミー ネット脇にはスコアポールが。選手がコートチェンジの時にボールを挟む。



関係者送迎用のバス。



土産物売りにて。帽子。



市民が自転車を共有する
「バイクシェア」



横断歩道。止まれ。



会場駅にて。人を後ろに乗せて走ります。



ニューヨーク市立図書館。



おしゃれなマンホールのふた。



マンハッタンの夜景。



帰りの機内から。”かわいい” ナイアガラ滝。